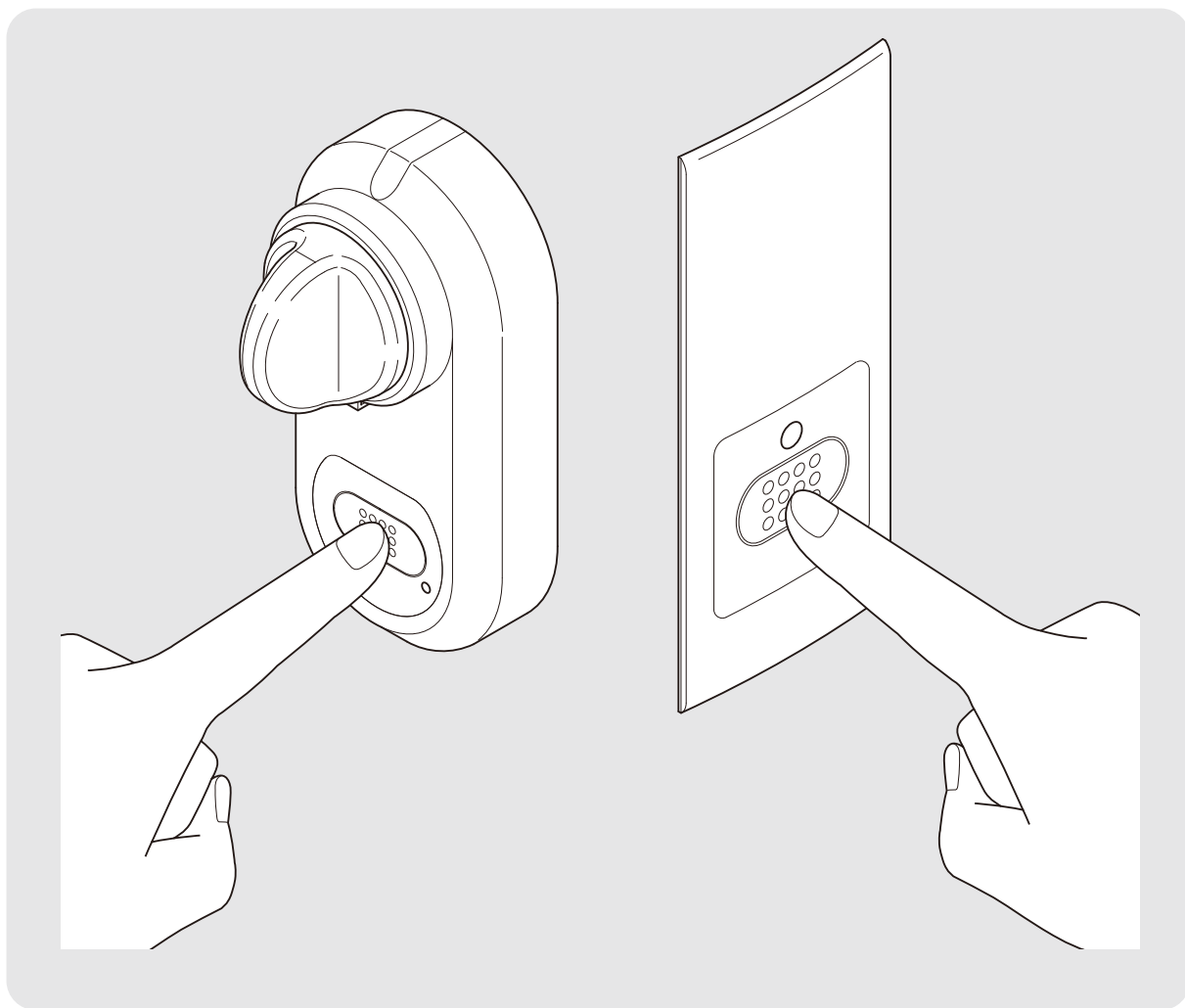


タッチ/ノータッチ切替キーシステム

施工説明書



施工にあたって

この説明書では、お客さまの安全と製品を正しく施工していただくための、組立ておよび取付けについて、重要な内容を記載しております。

ご留意いただき、施工してください。

目次

■はじめに	1
■施工される方へのお願い	1
■留意事項	1
■施工手順とお願い	2
■各部名称図・部品明細	3・4
■システム全体の名称	3
■部品明細	4
■接続方法	5～11
1.タッチ/ノータッチベーシックシステム結線図	5
2.通電金具の取付け	6
3.インターフェイスユニットの取付け方法	7・8
4.ガードロック用シリンダー、タッチ付電動サムターンの取付け	9
5.本締り用シリンダー、セキュリティ電動サムターンの取付け	9
6.シリンダー、タッチ付電動サムターンの取付け	10
7.下シリンダー、セキュリティ電動サムターンの取付け	11
■調整方法	12・13
1.ストライクの調整方法	12
2.ドアクローザの調整方法	12
3.ガードロックの調整方法	12
4.マグネットの調整方法	13
■施工後の確認	14
■基本システムの確認	15・16
■2線化変換アダプタ、JEM-A端子接続などで拡張した場合の確認	17
■配線色別信号内容	18・19
■外形寸法図	20

はじめに

このたびは、タッチ/ノータッチ切替キーシステムをご採用いただきありがとうございます。お施主さまに末永く満足していただくためにも、このマニュアルにより正しい取付けおよび動作の確認をしてください。

なお、このマニュアルはセットの各部の取付け結線の仕方およびシステム全体としての動作の説明がしてあります。ご不明な点などありましたら、最寄りの当社営業所にお問合わせください。

問合わせ事項	連絡先	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎ 0120-413-433

施工される方へのお願い

●施工後、お施主さまに使い方を説明し、取扱い説明書をお渡しください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

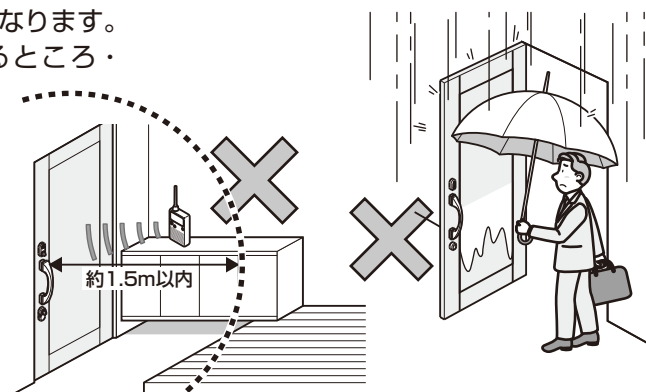
- 交流100Vを機器本体に直接接続する(タッチ/ノータッチ切替キーセット)配線・取付け・結線は、電気工事士の資格が必要です。必ず、電気工事店さまにご依頼ください。
- アース端子に、アース(D種接地)工事を必ず実施してください。アース工事されていないと、外部からの過電圧で機器が破損したり、外部および機器間のノイズにより誤作動の原因となります。

留意事項

■施工上の留意事項

●次のような場所への設置は避けてください。故障の原因となります。

- ・温度が上昇するところ(直射日光・直接暖房熱の当たるところ・ボイラーの近くなど)
- ・低温になるところ(冷凍倉庫など)
- ・通気性が悪く湿気が多いところ
- ・水・油・鉄粉・薬品などがかかるところ
- ・テレビ、パソコンなどの電化製品から1m以内のところ
- ・強い電波、ノイズのある環境
- ・他の電波式リモコンなどの機器から1.5m以内のところ(特に315MHz帯を使用している機器)
- ・扉を開けた際に扉に直接雨水がかかるところ



施工手順とお願い

- タッチ/ノータッチ切替キー付玄関ドアは従来の玄関ドアとは異なります。下記の点に留意してください。
- ①枠、本体、子扉、袖は、タッチ/ノータッチ切替キー付専用になります。
- 枠・本体の中を配線が通りますので、規格品の玄関ドアは使用できません。タッチ/ノータッチ切替キー付玄関ドアとしてセット注文してください。
- ②タッチ/ノータッチ切替キーシステムには別途タッチ付電動サムターンセットが同梱された把手セットが必要となりますのでご用意ください。
- ③タッチ/ノータッチ切替キーシステム配線工事は内装工事をする前に、必ず電気工事店さまにご依頼ください。
- 玄関ドアから各機器までの配線は、躯体の中を通ることになりますので、内装を仕上げる前に配線工事、埋込みボックスの取付けが必要となります。
- ④お施主さま、建築設計者と十分打合わせをしてください。
- 躯体内配線のため、内装工事終了後の変更は難しくなります。
- システム系統図、配線図を作成し、インターフェイスユニットや解錠ボタンの設置したい場所を決めてください。

- ・施工時には特に次のことを守ってください。・
- アース(D種接地)工事を必ず実施してください。アース工事がされていない場合、外部および機器のノイズにより誤作動の原因となります。
 - 本体の建付け調整および錠前受け(ストライク)調整を行い、手動でロックの施錠・解錠確認を必ず行ってください。
 - コネクターの接続は、「カチッ」という手応えがあるまでしっかり差込んでください。差込みが浅いと作動不良の原因になります。

- ・現場手配部品一覧・
- 下記の部品を現場手配してください。
 - ・埋込みスイッチボックス(JISスイッチボックス)・3個用(深型)(奥行き54mm以上)
 - ・丸木ねじφ4.1×16・・・・・・4本
 - スイッチボックスの奥行きが53mm未満の場合、本機は取付けられません。

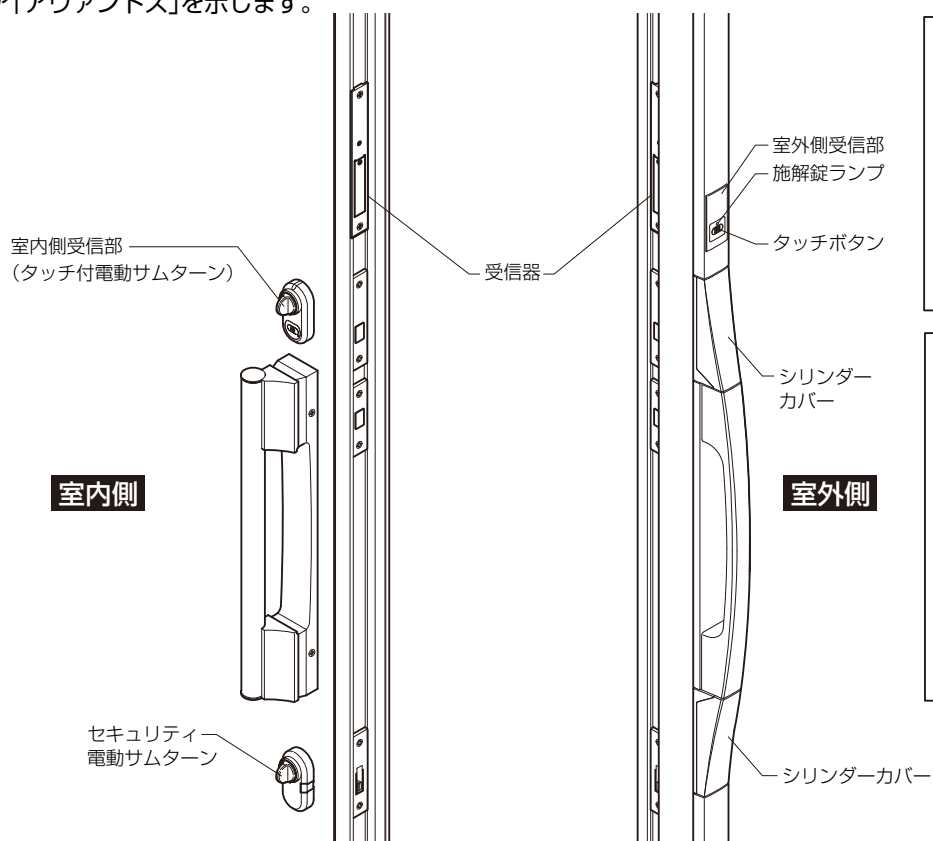
■設計・施工工程モデル

建築工程(在来工法)	タッチ/ノータッチ切替キーシステム施工工程
お施主さまとの打ち合わせ	・システム設置場所の決定 ・システム系統図の作成……各機器の最大接続距離はP.8を参照ください。
↓	
建築設計	・システム配線図の作成
↓	
サッシ取付け	・システム用玄関ドアの取付け……接続コード(インターフェイスユニット同梱)を電気工事店さまにお渡しください。 ・玄関ドア枠周りの配線用木加工……枠同梱の通電金具の取付け説明書を参照ください。
↓	
電気配線工事	・電気配線工事……接続コードはコネクタ付でオス・メスの別があります。接続コードの端に付いているラベルにしたがって配線してください。逆に配線すると、接続できませんのでご注意ください。 ・埋込みスイッチボックス……埋込みスイッチボックスは付属品ではありませんので、各々指定されている市販のスイッチボックスを用意してください。
↓	
内装工事	・各機器の取付け……P.6～11をご覧ください。
↓	
電気器具の取付け	・結線……P.5をご覧ください。
↓	
竣工	・動作確認……P.14の施工後の動作確認およびP.15・16の基本システムの確認、P.17 2線化変換アダプタ、JEM-A端子接続などで拡張した場合にしたがって確認してください。

各部名称図・部品明細

■システム全体の名称

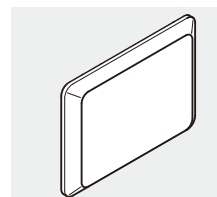
※図は玄関ドア「アヴァントス」を示します。



■専用リモコン

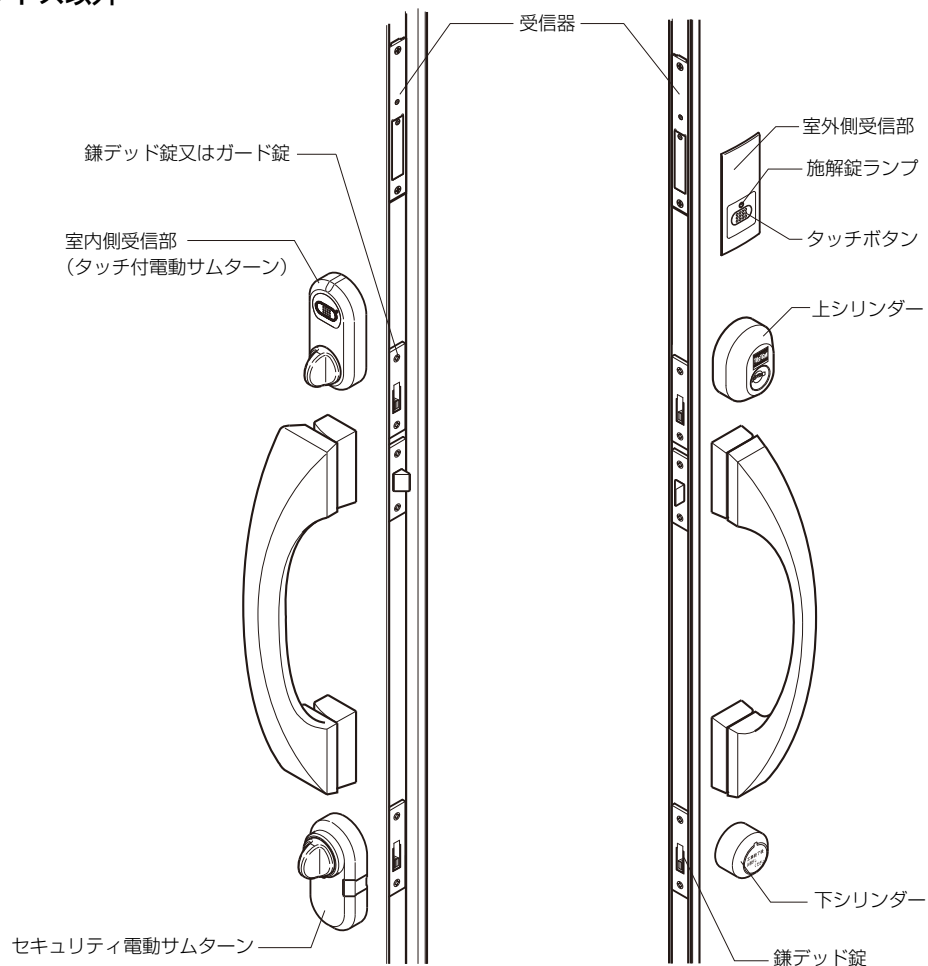


■インターフェイスユニット



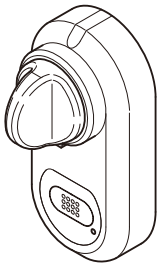
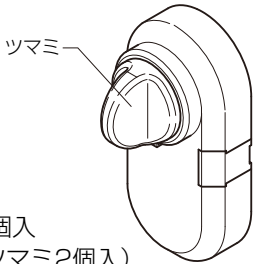
※ドア吊元付近に設置します。

■アヴァントス以外

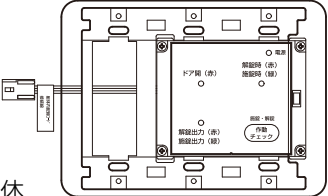
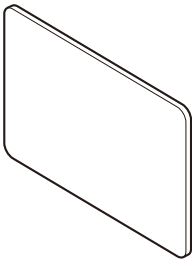
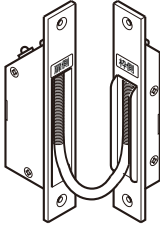
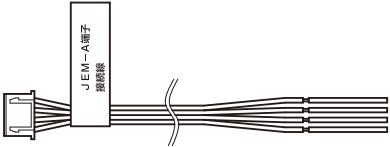
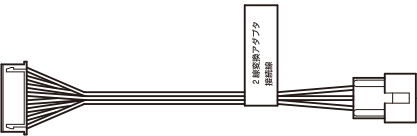
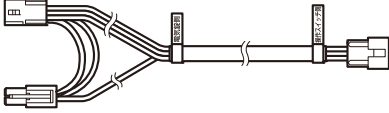


■部品明細

■タッチ付電動サムターンセット

タッチ付電動サムターン	セキュリティ電動サムターン
 1個入	 1個入 (ツマミ2個入)

■インターフェイスユニットセット

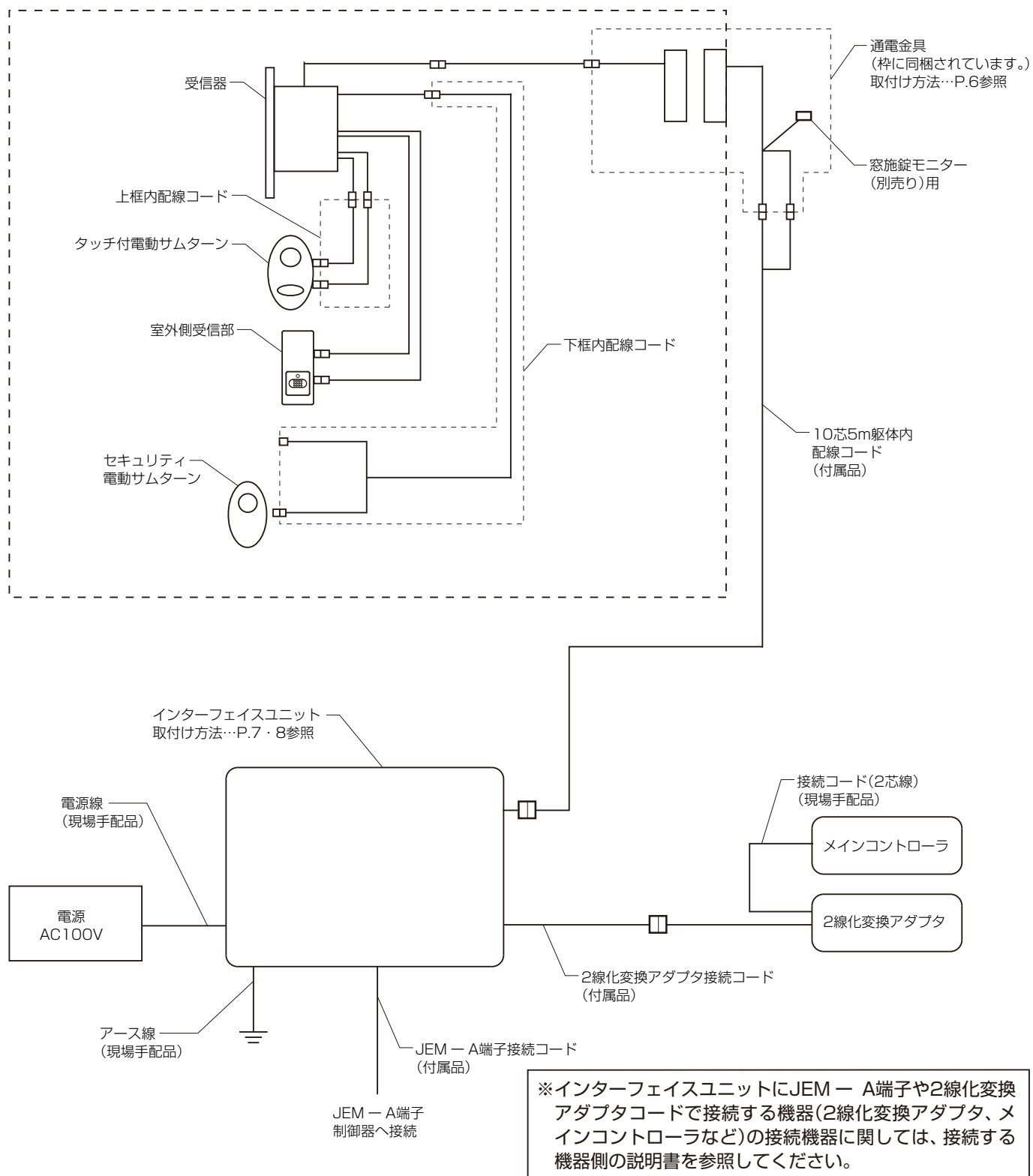
インターフェイスユニット	カバープレート	通電金具
 ・本体 ・フルカラープレート1セット ・皿小ねじ M4×25…6本 ・丸木ねじ φ4.1×16…6本		 ※通電金具は枠に同梱 1個入
JEM-A端子接続コード	2線化変換アダプタ接続コード	躯体内配線コード
 4芯	 8芯	 1本入(10芯・5m)

※オプション(別売)で下記の部品が用意されています。

・専用リモコン(シルバー・ブルー・ピンク)…最大8個まで追加できます。

接続方法

1. タッチ/ノータッチ切替キーベースシステム結線図



2.通電金具の取付け方法

※通電金具に同梱されている取付け説明書にしたがって枠周りの配線用木加工を行ってください。

※通電金具は、枠に同梱されています。

●扉から出ている扉内配線コードのコネクターと扉側通電金具のコネクターを接続し、コードを扉の中へ押込んで通電金具を取付けねじ(2本)で扉に取付けてください。同様に縦枠(袖パネル)内のコネクターと、枠側の通電金具のコネクターを接続し、枠(袖パネル)に通電金具を取付けてください。

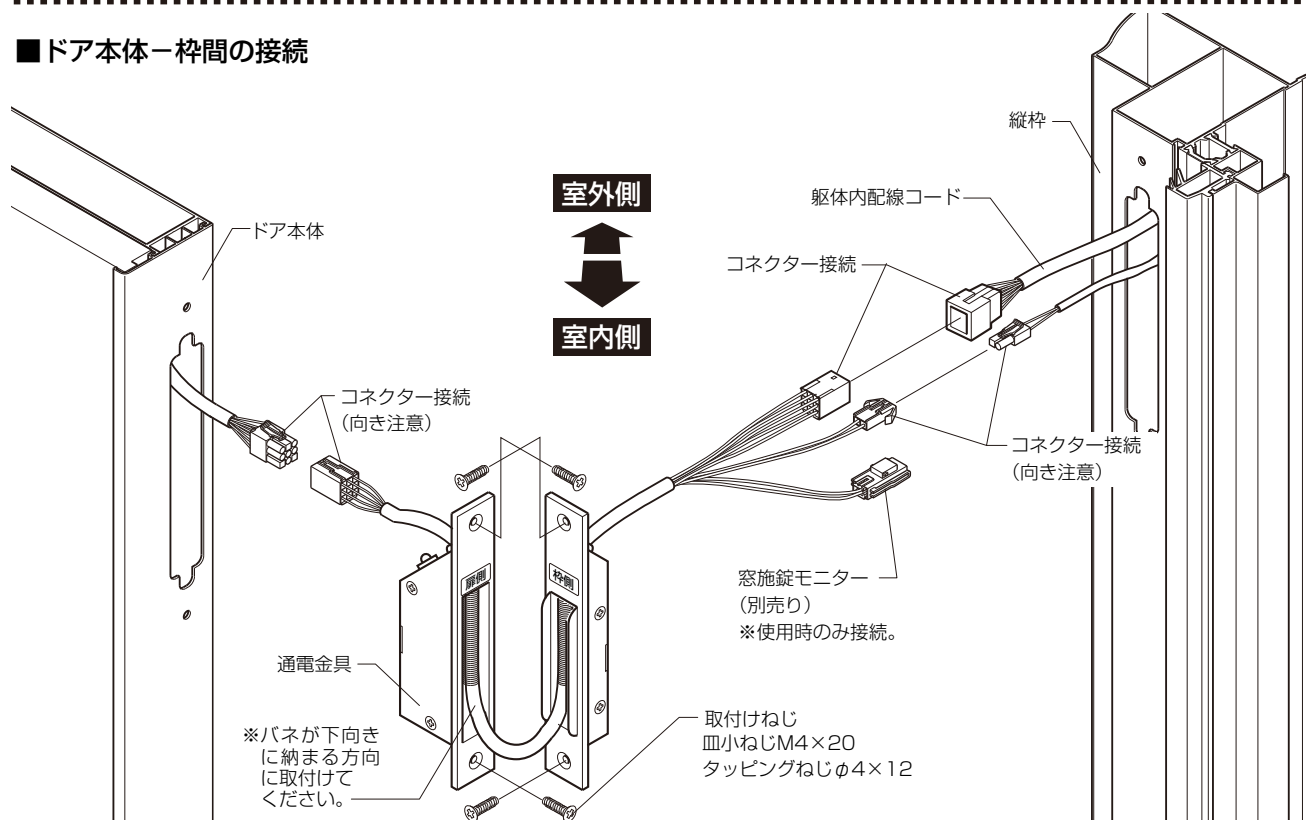
※「アヴァントス・ポルトNX・アンビィTX」の60片袖親子タイプの場合は、扉・袖パネル間のみ通電金具を接続し、袖パネル・枠間の接続には、使用しません。

お願い

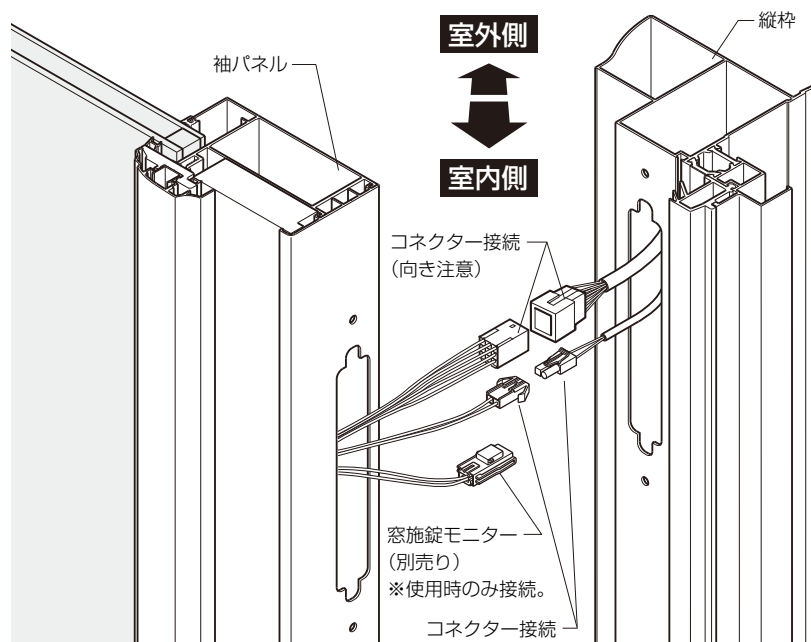
※コネクター接続は、必ず躯体内配線コードを縦枠側から、通電金具取付け穴を通して引出して接続し、接続後は、縦枠内に落とし込んでください。接続点検の際に、壁をはがすことになってしまいますので、壁の中で接続しないでください。

※コネクタの接続は、「カチッ」という手応えがあるまでしっかり差込んでください。

■ドア本体－枠間の接続



■袖パネル－枠間の接続 (60片袖親子タイプ)



3.インターフェイスユニットの取付け方法

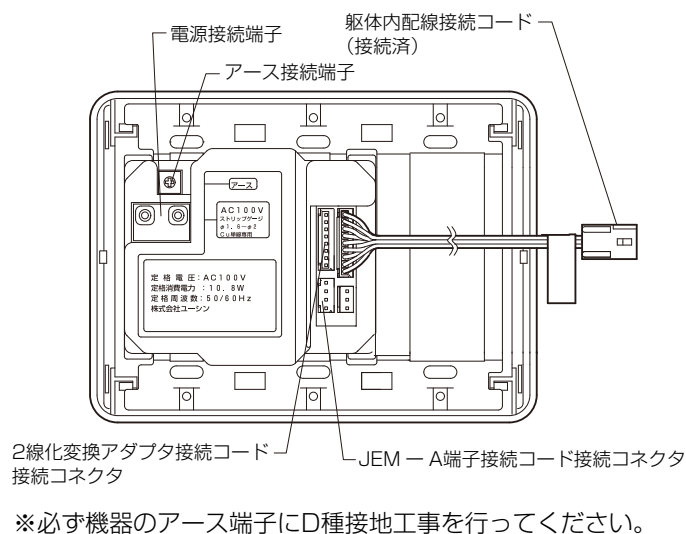
■インターフェイスユニット接続方法

■取付け位置

- インターフェイスユニットは、添付の配線コード5mが届く範囲のドア吊元側室内の平坦な壁面に取付けてください。
- 屋外や雨のかかる場所には取付けしないでください。又高温、多湿、砂ボコリ、腐食性ガス、振動、衝撃などの環境も避けて取付けてください。
- 操作、点検ができるように、フタの開閉が可能で目の届く場所に取付けてください。
- お掃除のときに水のかからない場所に取付けてください。



■インターフェイスユニット本体裏面コネクター配置図



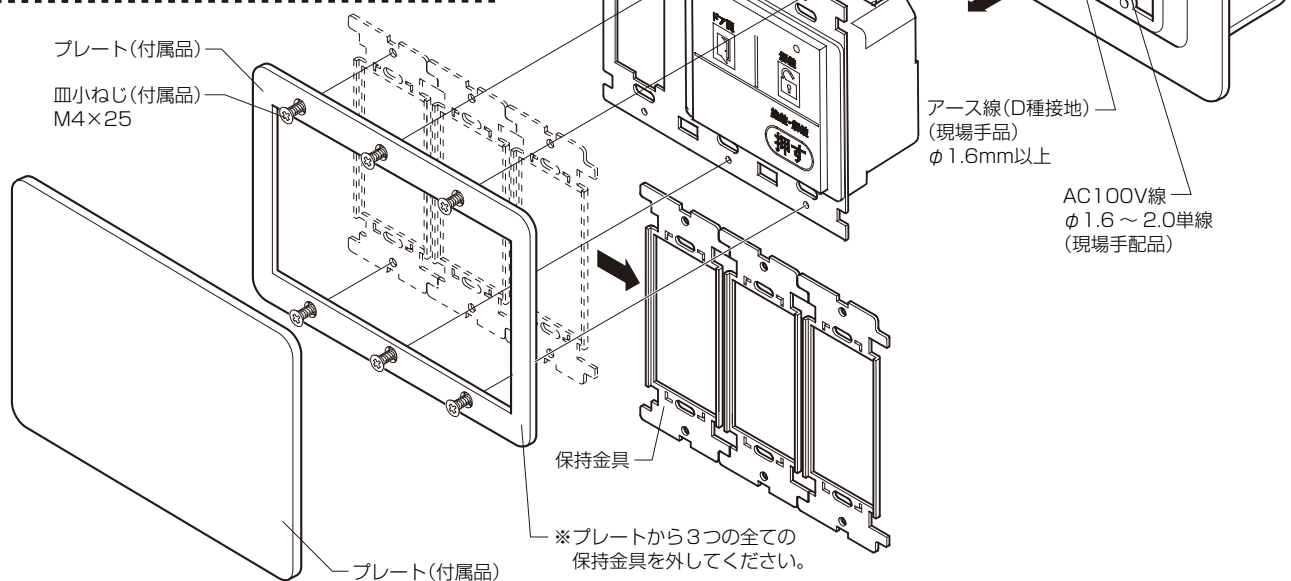
■埋込みスイッチボックスを使用し、結線をしてください。

- 本機1個取付ける場合、3個用スイッチボックス深型(カバー付き) (現場手配品) (別途市販品)

■アース端子にD種接地工事を行ってください。

■お願い

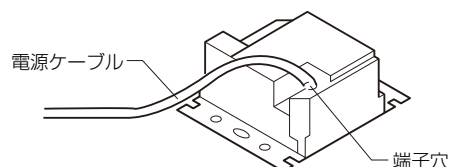
※アース(D種接地)工事は必ず実施してください。されていない場合、外部からの過電圧で機器が破損したり、外部および機器間のノイズにより誤作動の原因となります。



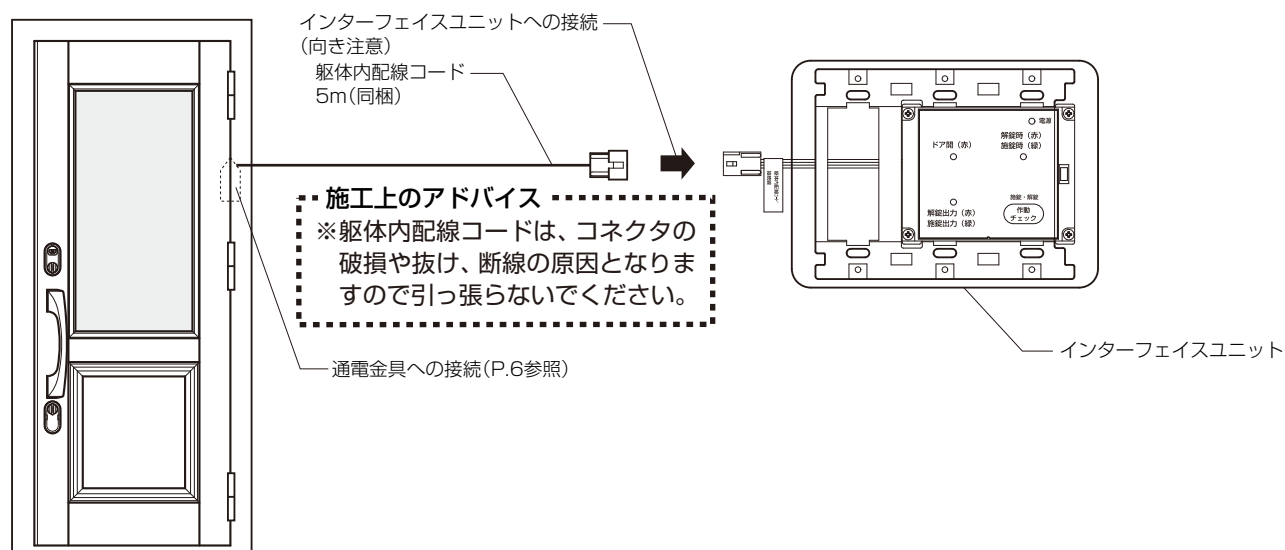
■電源ケーブルの接続

- 電源ケーブルをストリップゲージに合わせて皮むきます。メインコントローラ本体裏側の端子穴に電源ケーブルを結線します。

※電気工事士免許取得者の方が行ってください。



① インターフェイスユニットとドア本体の接続

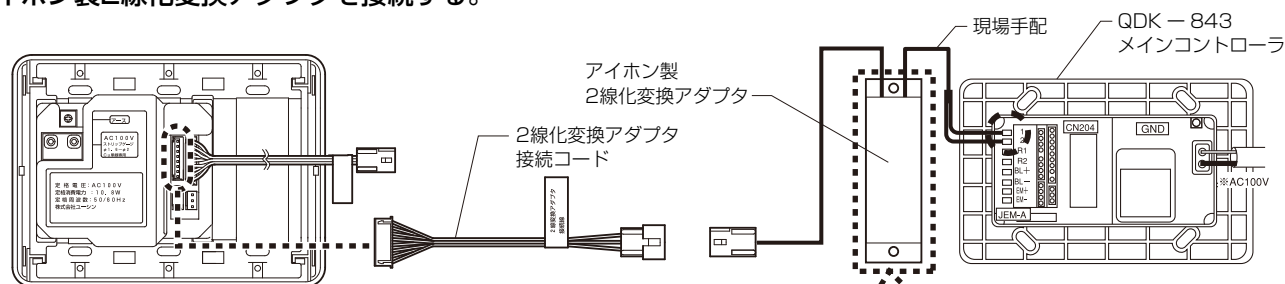


■2 インターフェイスユニットと各機器との接続

●インターフェイスユニットへの接続は、下表を参照して目的毎に使用する接続コードを確認してから各接続方法を参照願います。

目的	使用するインターフェイスユニットへの接続	芯数	接続するケーブル	最長延長距離
●5キー解錠錠装置を接続する。 (アイホン製2線化変換アダプタを接続する。)	 2線化変換アダプタ 接続線	8	●現場手配2芯 (2線化変換アダプタとメインコントローラ間)	40mまで
●JEM-A端子付の装置を接続する。	 JEM-A端子 接続線	4	●現場手配4芯	40mまで

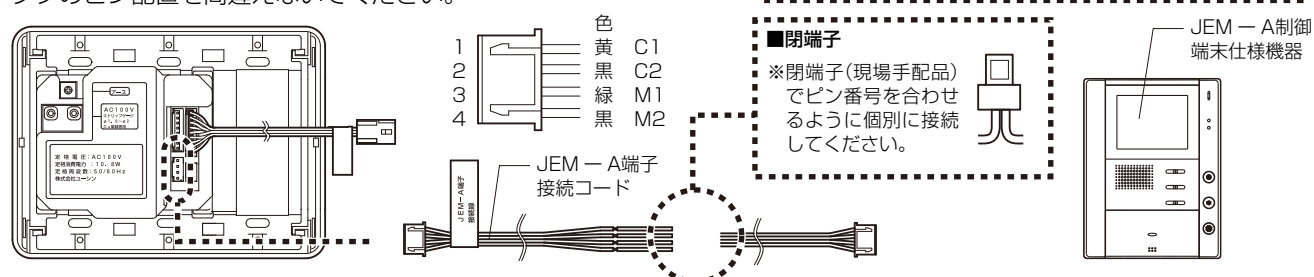
■アイホン製2線化変換アダプタを接続する。



※接続後にインターフェイスユニット内に収納する。

■JEM - A端子付の装置を接続する。

※コネクタのピン配置を間違えないでください。

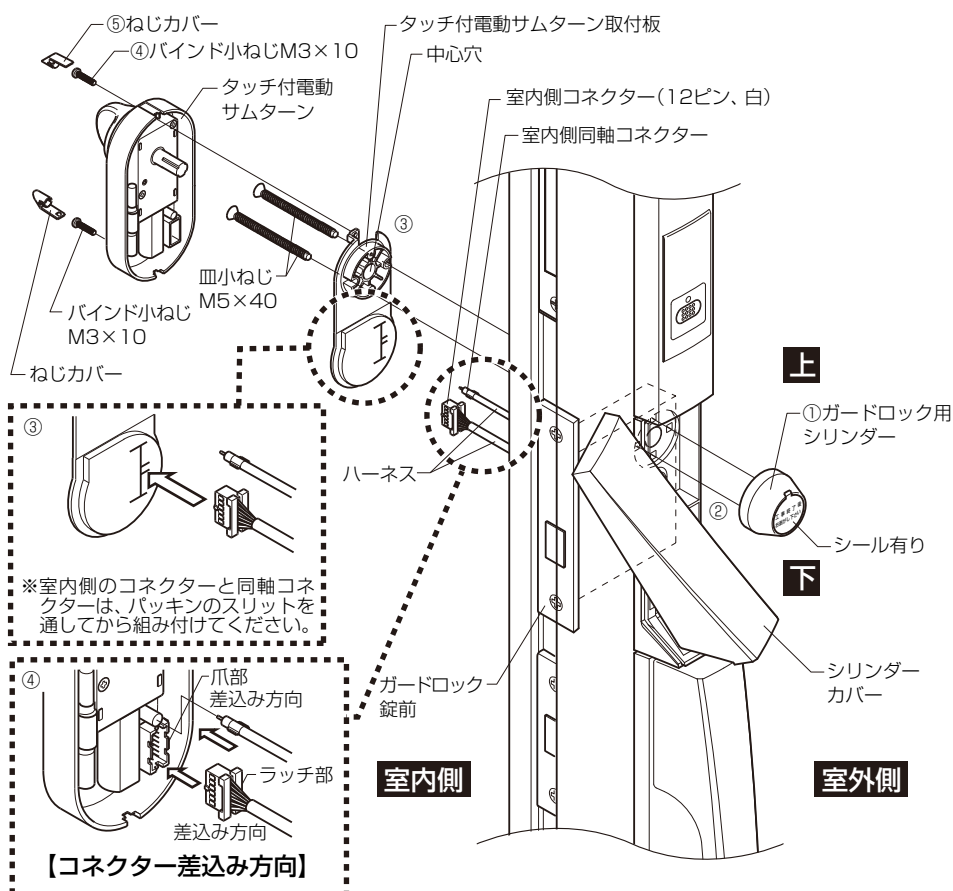


4.ガードロック用シリンダー、タッチ付電動サムターンの取付け

※玄関ドア「アヴァントス」の場合

●シリンダーカバーを手前に引っ張って反時計方向に回転させると、シリンダー取付け穴があります。シリンダーを取付けた後は、時計方向に回転させて閉じてください。

- ①ガードロック用シリンダー(シール有り)の上側のシールを上に向けます。
- ②ガードロック用シリンダーの出っ張り(4カ所)を、ガードロック錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
- ③電動サムターン取付け板の中心穴を上錠ケースの中心に合わせ、皿小ねじでガードロック用シリンダーに取付けます。このとき、ドアから引出した「室内側」とタグの付いたハーネスをあらかじめ取付け板のパッキンスリット穴に通しておきます。
- ④電動サムターンにハーネスのコネクターをしっかりと差込み、サムターンツマミを縦に向け電動サムターン取付け板にはめ込み、バインド小ねじ(2カ所)で取付けます。
- ⑤バインド小ねじの上にねじカバー(2個)を取付けます。

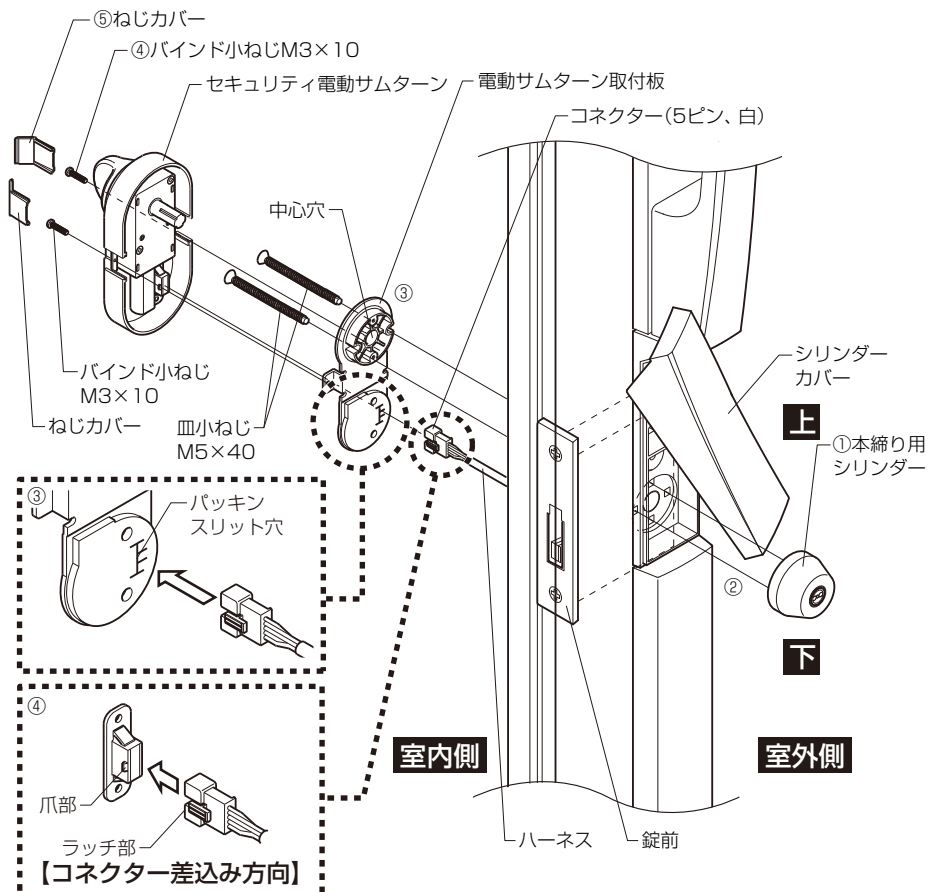


5.本締り用シリンダー、セキュリティ電動サムターンの取付け

※玄関ドア「アヴァントス」の場合

●シリンダーカバーを手前に引っ張って反時計方向に回転させると、シリンダー取付け穴があります。シリンダーを取付けた後は、時計方向に回転させて閉じてください。

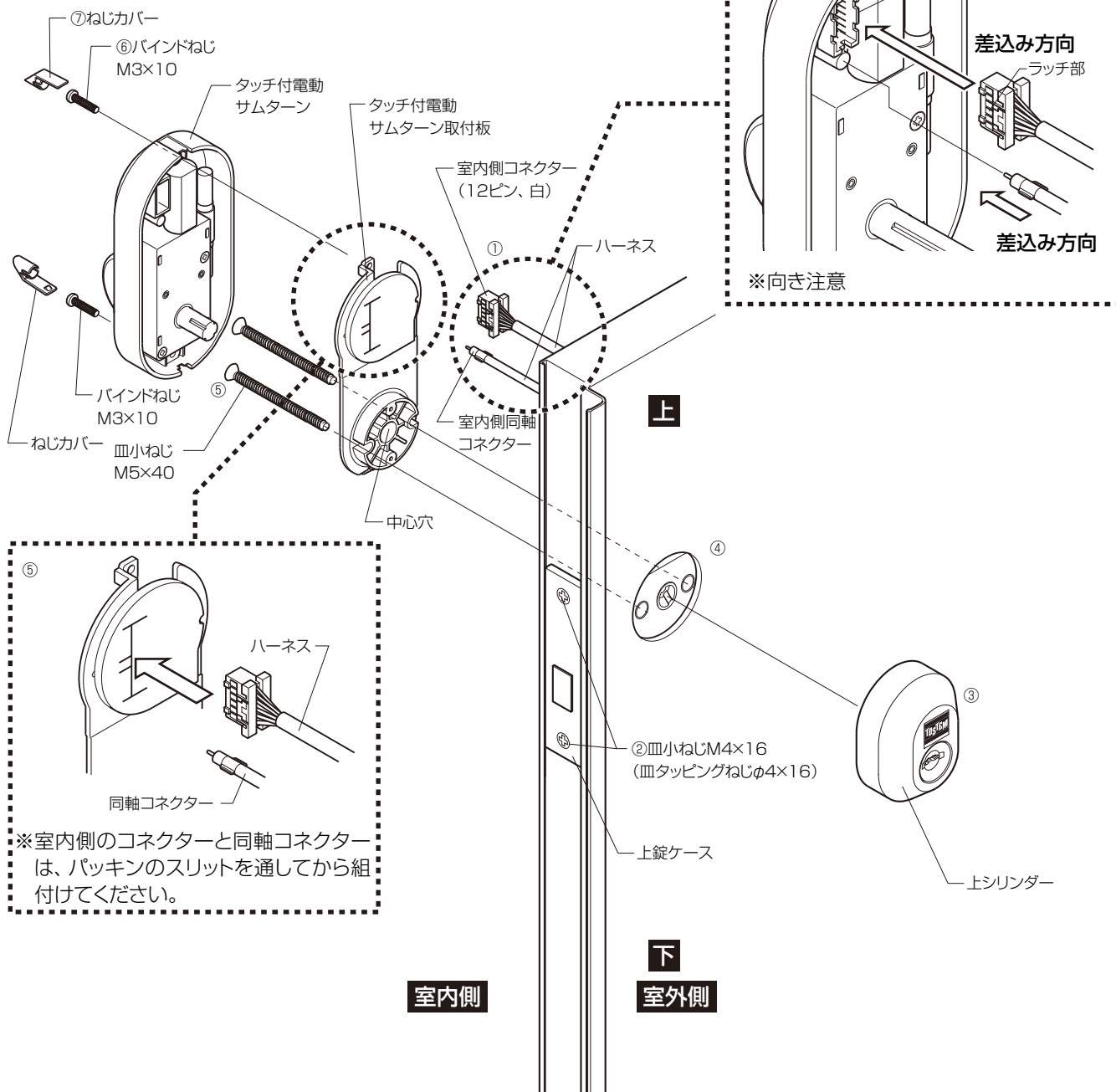
- ①本締り用シリンダーを上に向けます。
- ②本締り用シリンダーの出っ張り(4カ所)を、本締り用錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
- ③セキュリティ電動サムターン取付け板の中心穴を下錠ケースの中心に合わせ、皿小ねじで本締り用シリンダーに取付けます。このとき、ドアから引出したハーネスをセキュリティ電動サムターン取付け板のパッキンスリット穴に通しておきます。
- ④セキュリティ電動サムターンにハーネスのコネクターをしっかりと差込み、サムターンツマミを縦に向けセキュリティ電動サムターン取付け板にはめ込み、バインド小ねじ(2カ所)で取付けます。
- ⑤バインド小ねじの上にねじカバー(2個)を取付けます。



6. シリンダー、タッチ付電動サムターンの取付け

※玄関ドア「アヴァントス」以外の場合

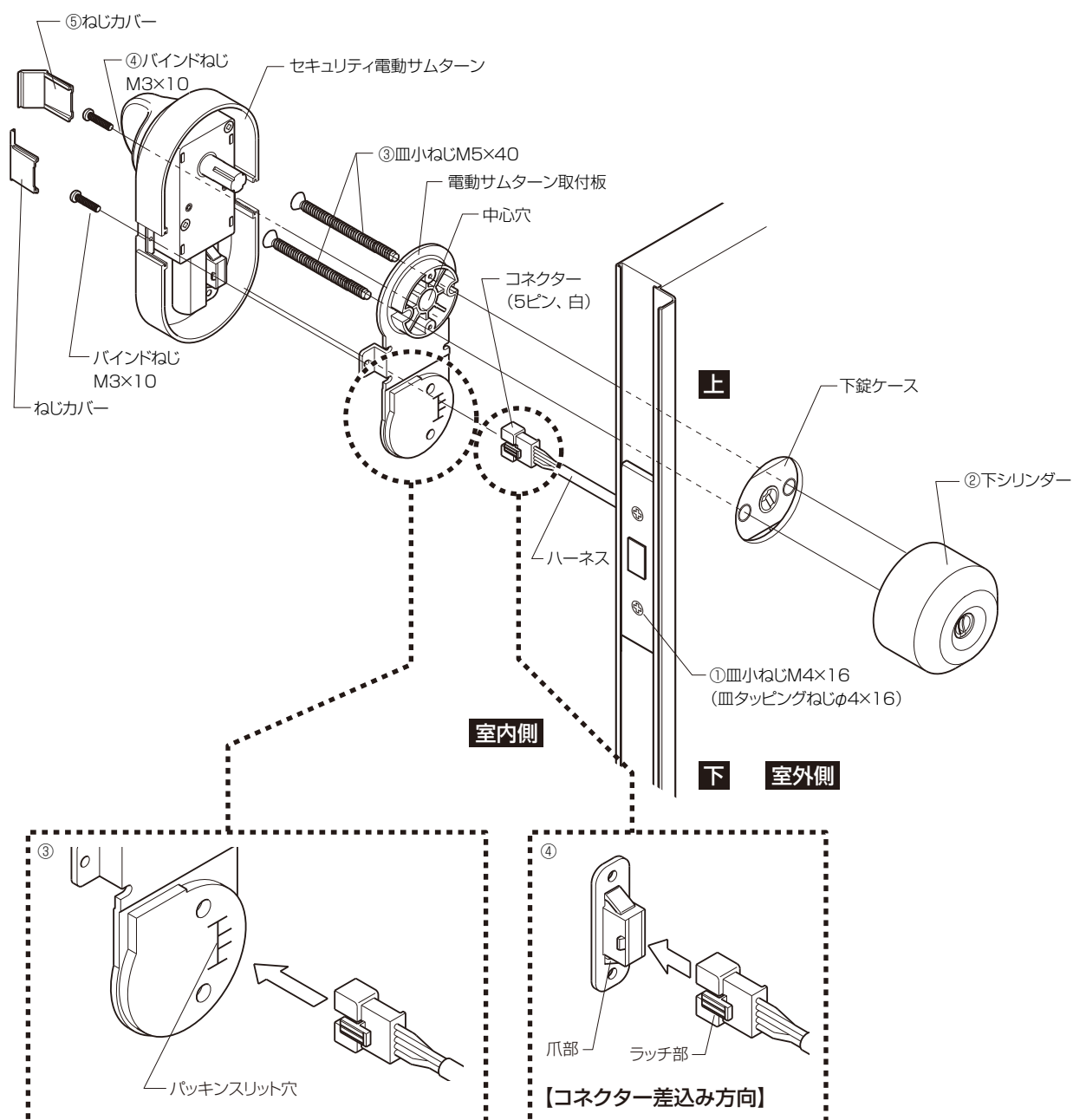
- ① ドアから8cm以上ハーネスを引出してください。
- ② 皿小ねじで上錠ケースを取付けます。
- ③ シリンダーのトステムマークを上に向けます。
- ④ 上錠ケースの丸穴に合わせて保持します。
- ⑤ タッチ付電動サムターン取付け板の中心の穴を上錠ケースの中心に合わせ、皿小ねじでシリンダーに取付けます。このときドアから引出した「室内側」とタグの付いたハーネスをあらかじめ取付け板のパッキンスリット穴に通しておきます。
- ⑥ タッチ付電動サムターンにハーネスのコネクター 2本をしっかりと差し込みサムターンツマミを縦に向けタッチ付電動サムターン取付け板にはめ込み、バインドねじ(2箇所)で取付けます。
- ⑦ バインドねじの上にねじカバー(2箇所)を取付けます。



7. 下シリンダー、セキュリティ電動サムターンの取付け

※玄関ドア「アヴァントス」以外の場合

- ①皿小ねじで下錠ケースを取付けます。
- ②下シリンダーを下錠ケースの丸穴に合わせて保持します。
- ③電動サムターン取付け板の中心の穴を下錠ケースの中心に合わせ、皿小ねじで下シリンダーに取付けます。このときドアから引出したハーネスを電動サムターン取付け板のパッキンスリット穴にあらかじめ通しておきます。
- ④セキュリティ電動サムターンにハーネスのコネクターを差し込みサムターンツマミを縦に向け電動サムターン取付け板にはめ込み、バインドねじで取付けます。
- ⑤バインドねじの上にねじカバー(2箇所)を取付けます。



調整方法

1. ストライクの調整方法

- ① ラッチがかかった状態でドアの前後方向のガタツキが少なくなるようにラッチ受けを調整します。
(ラッチが確実にかかることを確認します。)
- ② ドアクローザの速度調整をラッチングアクション区間を含めてお施主さまと相談し早めに設定します。
- ③ ドアを室内側に強くひっぱった状態でサムターンを回し、デッドボルトがストライクに少し擦れるぐらいにストライクを調整します。
(電気錠では問題無く動作する範囲)

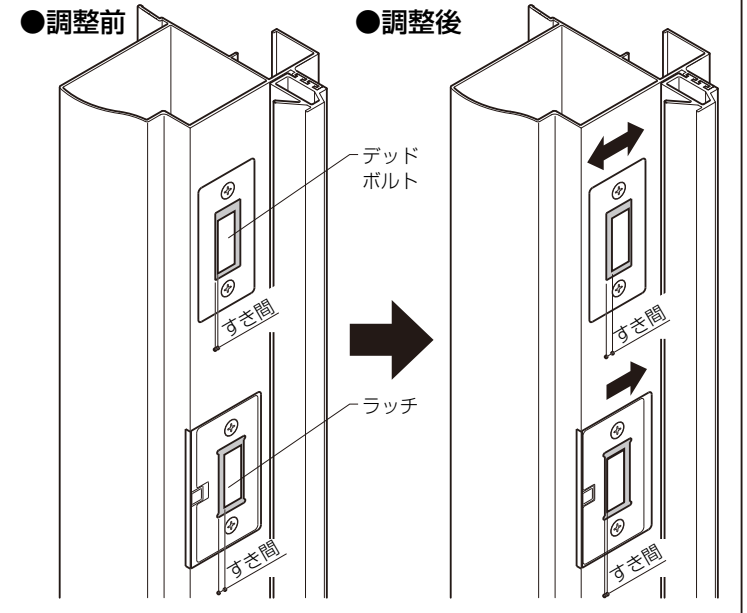
■熱ソリの可能性がある場合

- ④ 熱ソリの影響を極力避ける為に丁番(ヒンジ)を調整し、ドアを室外側に出します。
- ⑤ 熱ソリが起こっても通電金具の扉側と枠側が接触しないか、ラッチがかかるかクリアランスを確認します。

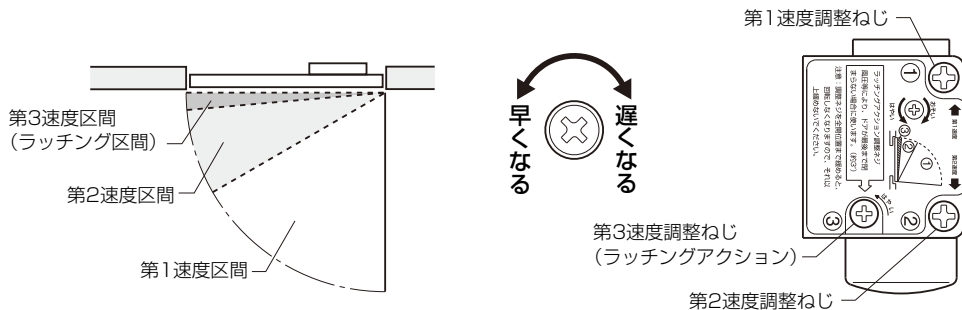
■ストライク・ラッチ受けの調整

- ① ラッチ受けを室内側に動かし、ドアのガタツキを抑えます。
- ② ドアを少し開けた状態から自動で閉めてラッチがかかるか確認します。

※デッドボルトとストライクのすき間は室内側を少なくし室外側が多くなるようにストライクを動かします。

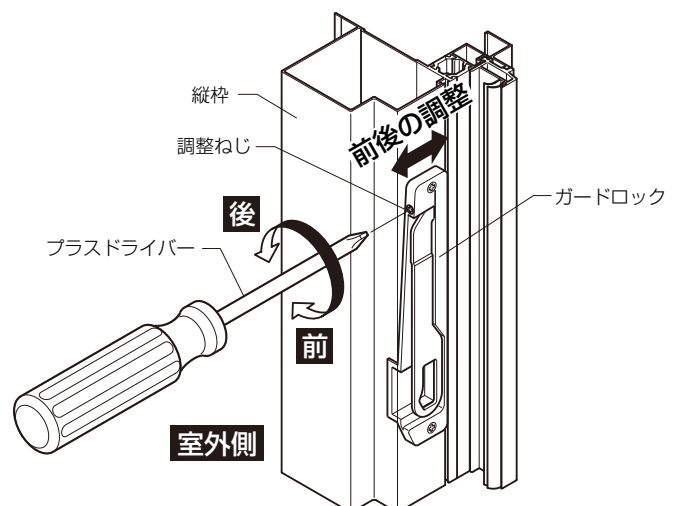


2. ドアクローザの調整方法



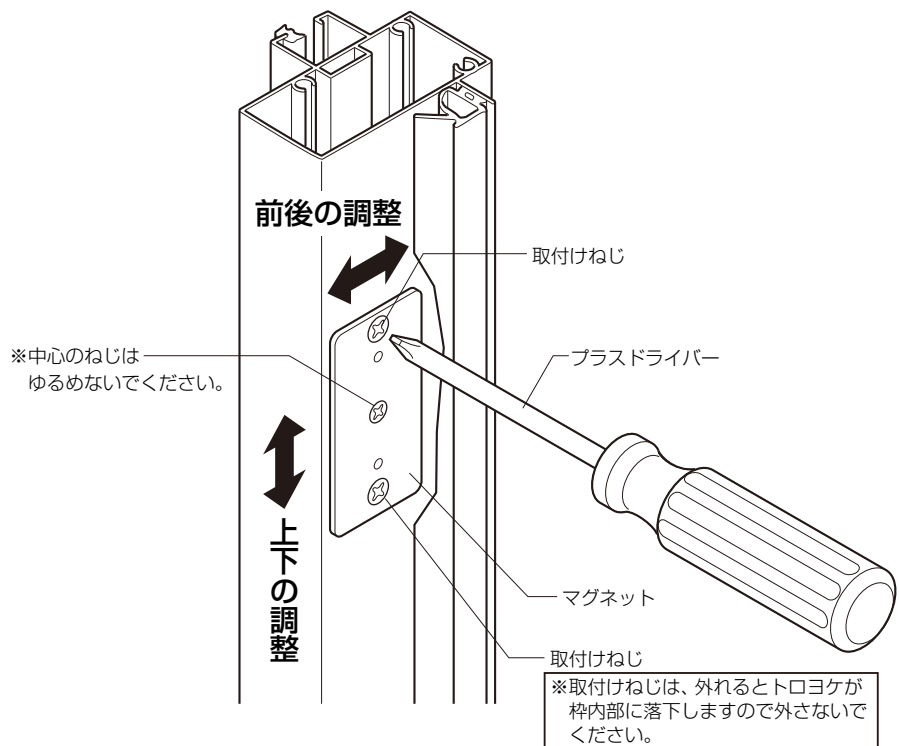
3. ガードロックの調整方法

- 側面の調整ねじを回して位置を前後に調整してください。上下はピボットヒンジで調整してください。

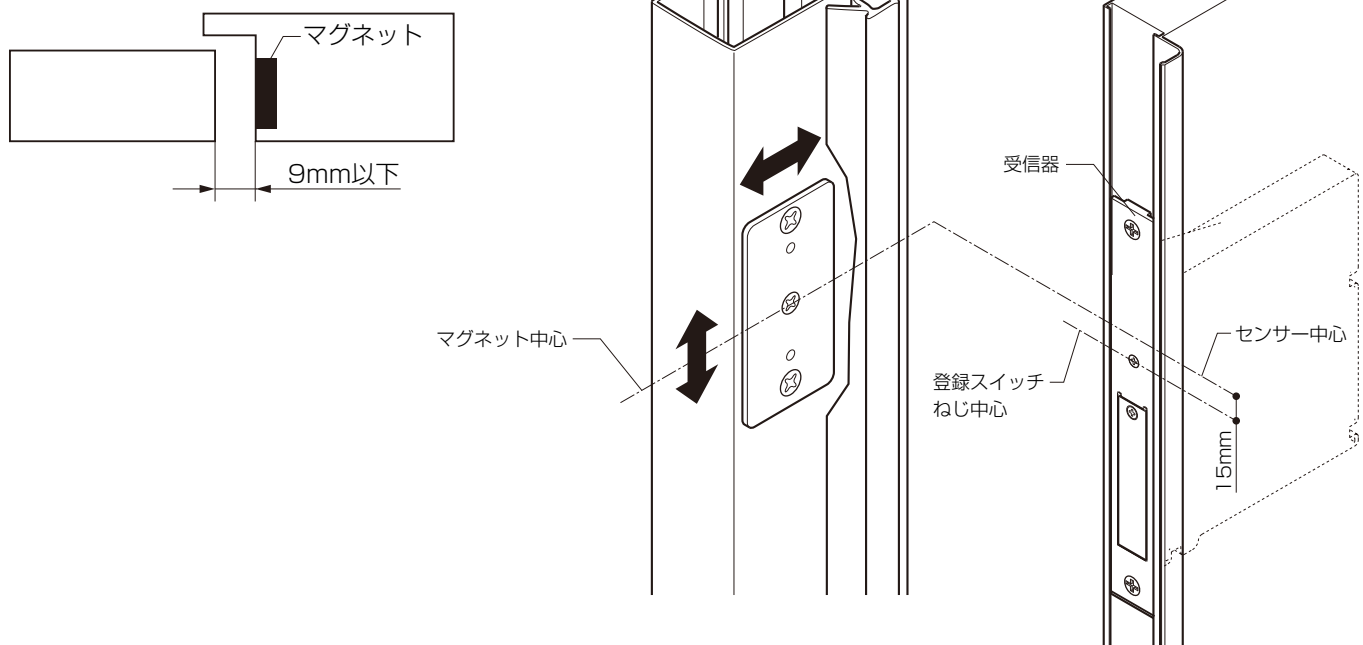


4.マグネット調整方法

- 取付けねじをゆるめて位置を調整した後、ねじを締め固定してください。
- ※取付けねじは外さないでください。



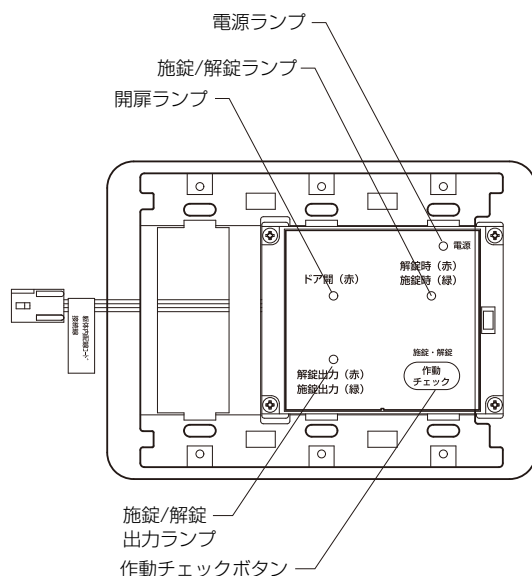
- 本体・受信器のセンサー中心とマグネット中心の位置が合うように高さを調整してください。



施工後の確認

- 専用リモコンやその他の操作方法是、取扱い説明書をお読みください。なお、取扱い説明書は、お施主さまに渡しますので、汚したり折れ目がついたりしないように注意してください。
- インターフェイスユニットの動作確認の前に本体の建付け調整および錠前受け(ストライク)の調整(P.12)を行い、手動にてロックの施錠確認を行ってから、**扉を閉めてサムターン上下2個を施錠状態にして確認を開始してください。**

■インターフェイスユニットの表示



■電源ランプ

- ・AC100Vが入ると点灯します。

■施錠/解錠ランプ

- ・施錠時：施錠完了後60秒間緑色で点灯します。
- ・解錠時：解錠完了後60秒間赤色で点灯します。

■作動チェックボタン

- ・インターフェイスユニットとドア本体が正しく接続されているかを確認する為に作動をチェックするボタンです。解錠時には施錠、施錠時には解錠とボタンを押す毎に反転動作します。

■開扉ランプ

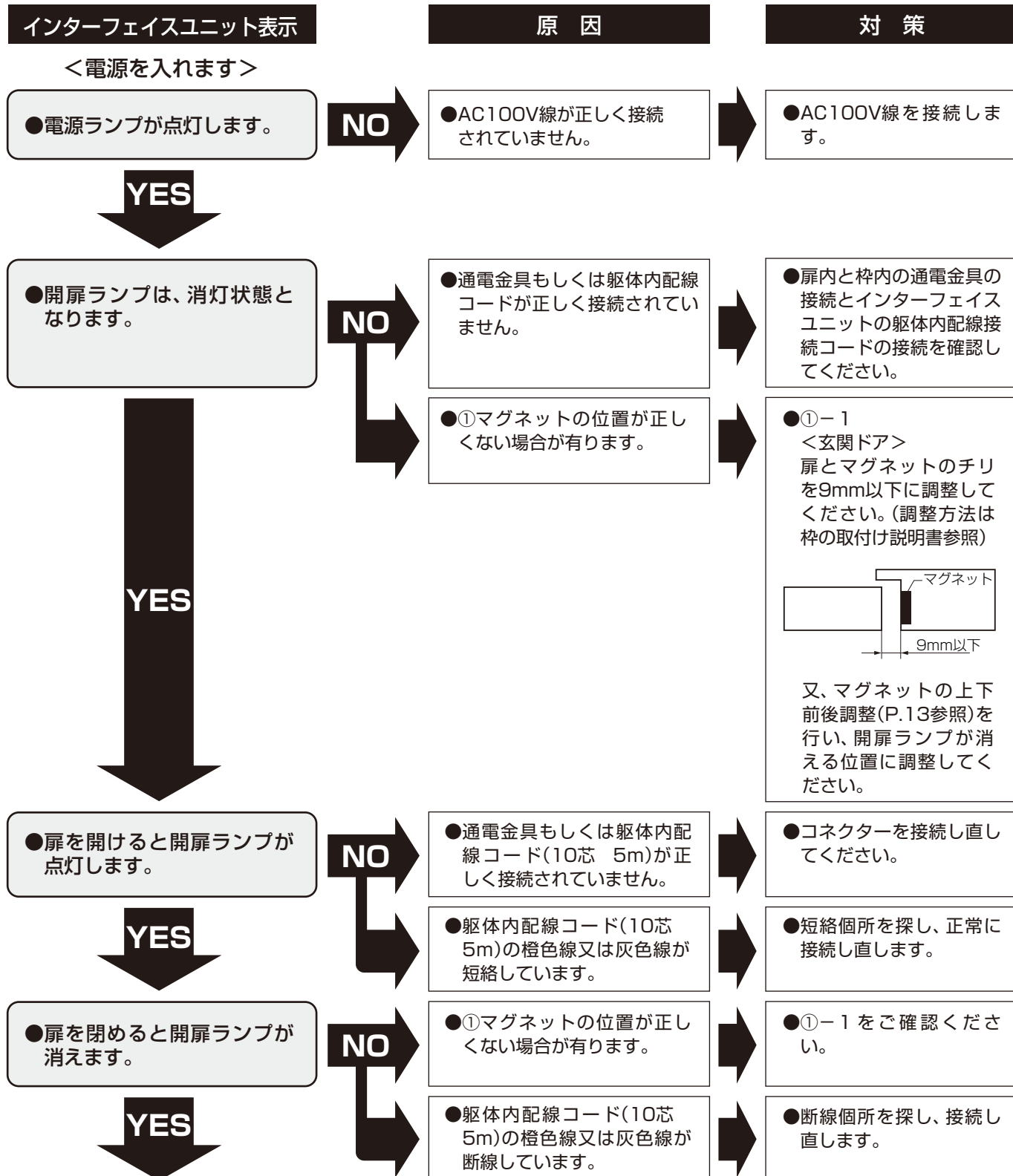
- ・扉を開けると赤色で点灯します。
- ・ドアを閉めると消灯します。

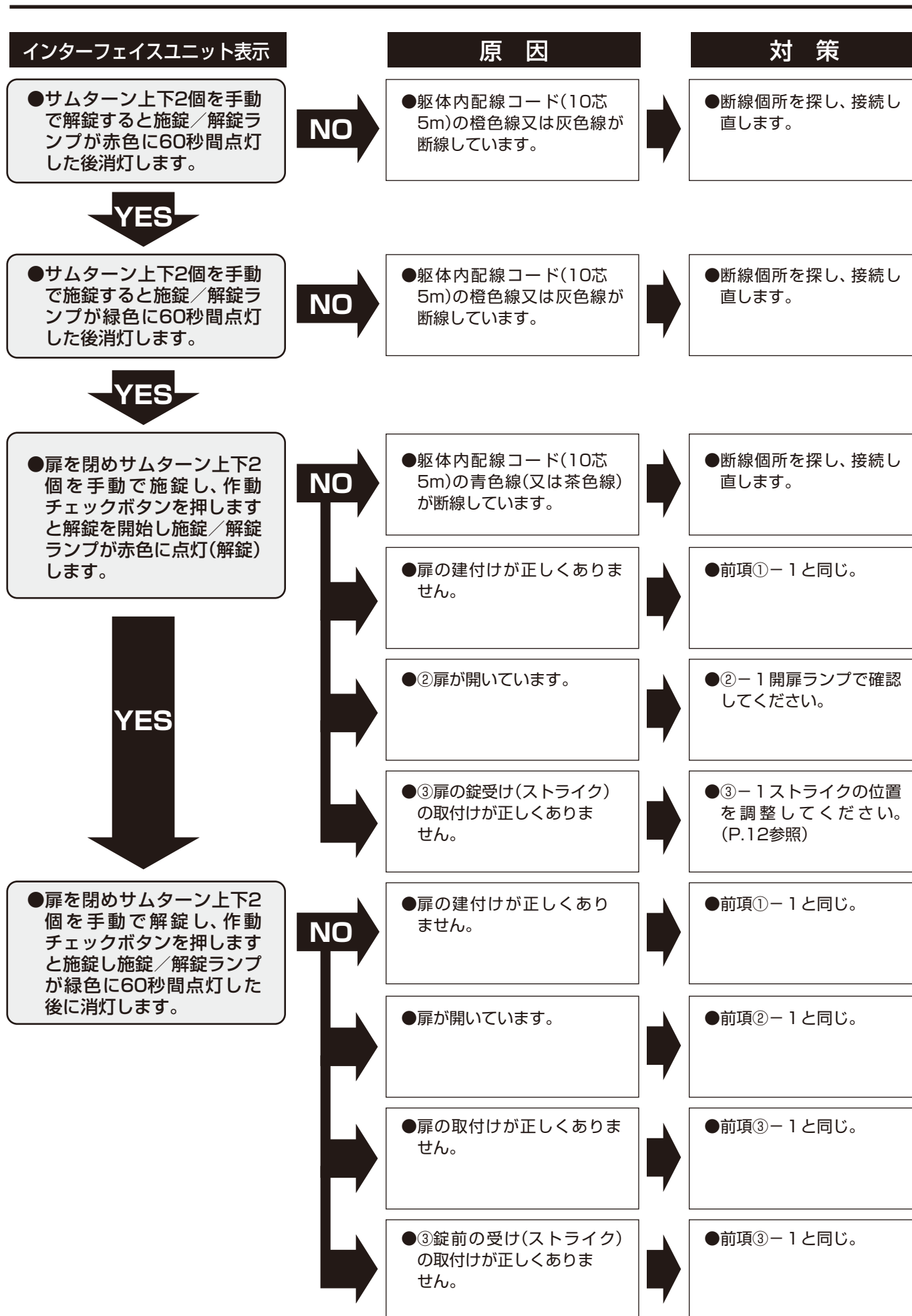
■施錠/解錠出力ランプ

- ・施錠時：解錠ボタン、2線化変換アダプタ、JEM — A端子のいずれからか施錠信号を受付けたときに1秒間緑色で点灯します。ドア本体は、施錠します。
- ・解錠時：解錠ボタン、2線化変換アダプタ、JEM — A端子のいずれからか解錠信号を受付けたときに1秒間赤色点灯します。ドア本体は、解錠します。

基本システムの確認

●扉を閉めて、サムターン上下2個を施錠状態にしてそれぞれの確認を開始してください。

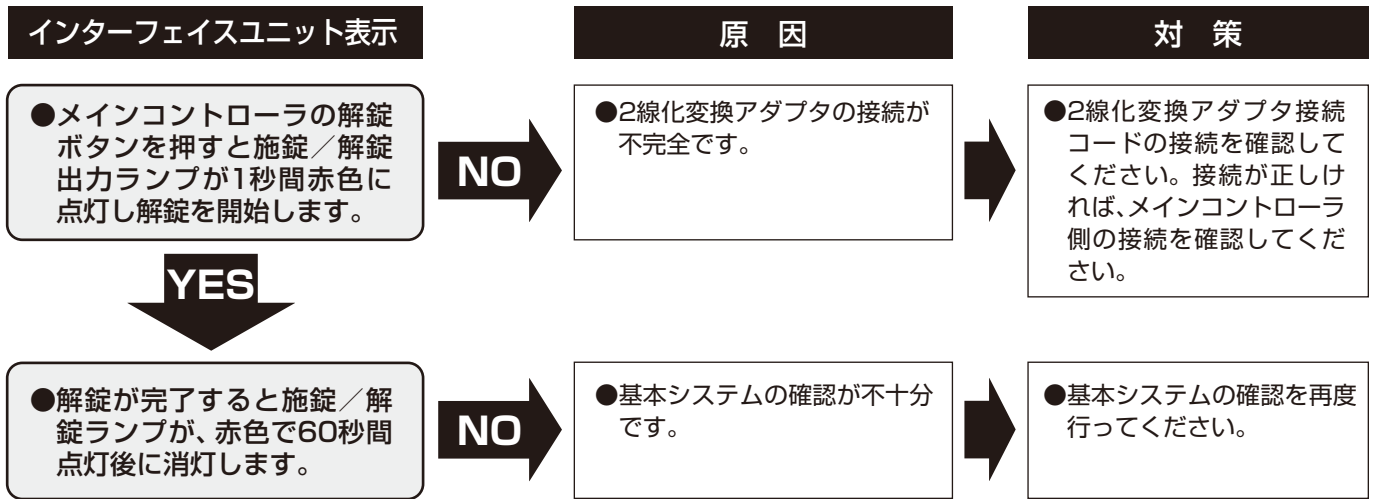




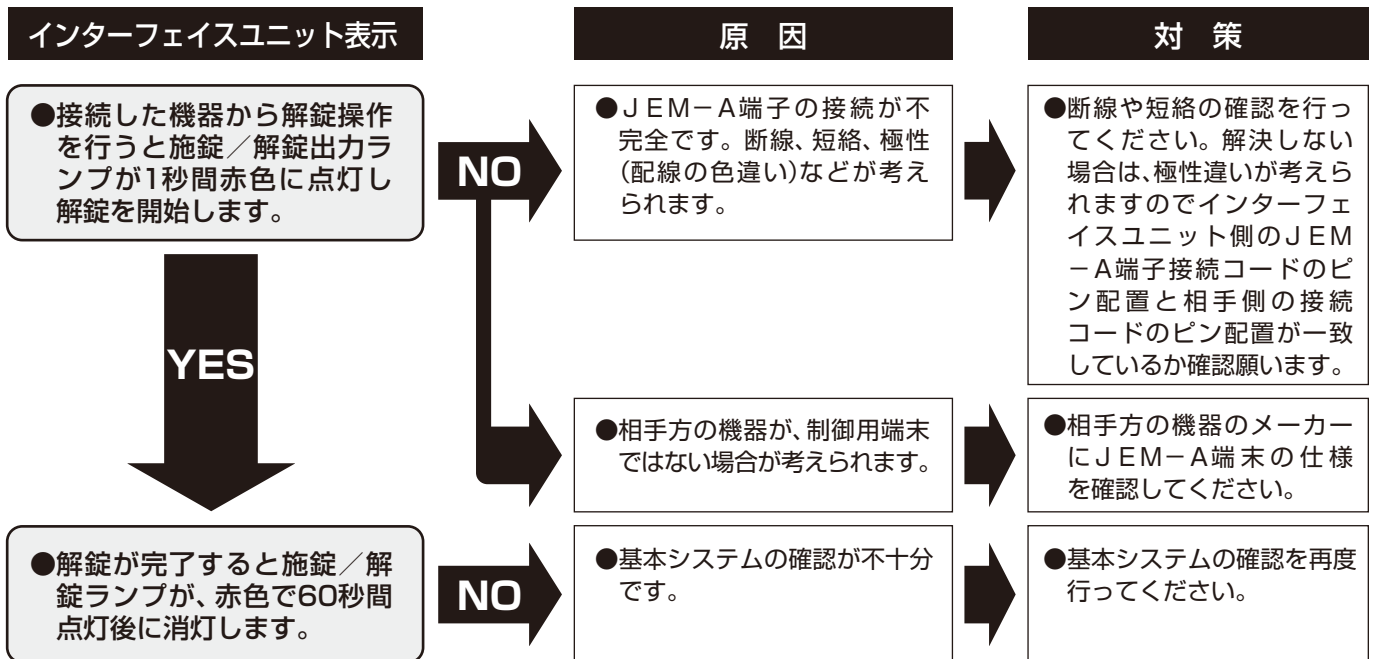
2線化変換アダプタ、JEM－A端子接続などで 拡張した場合の確認

●扉を閉めて、サムターン上下2個を施錠状態にしてそれぞれの確認を開始してください。

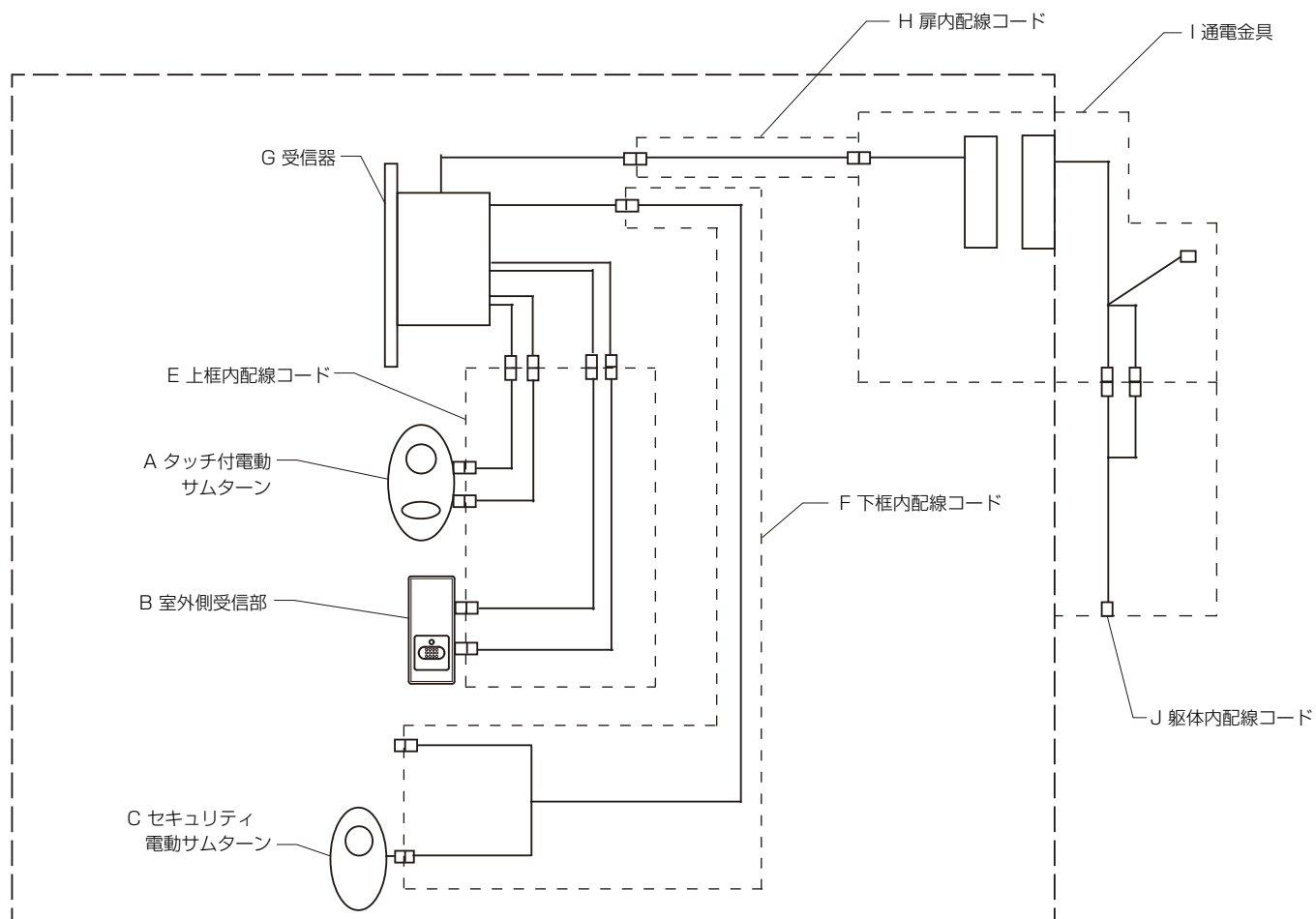
■2線化変換アダプタ接続の確認

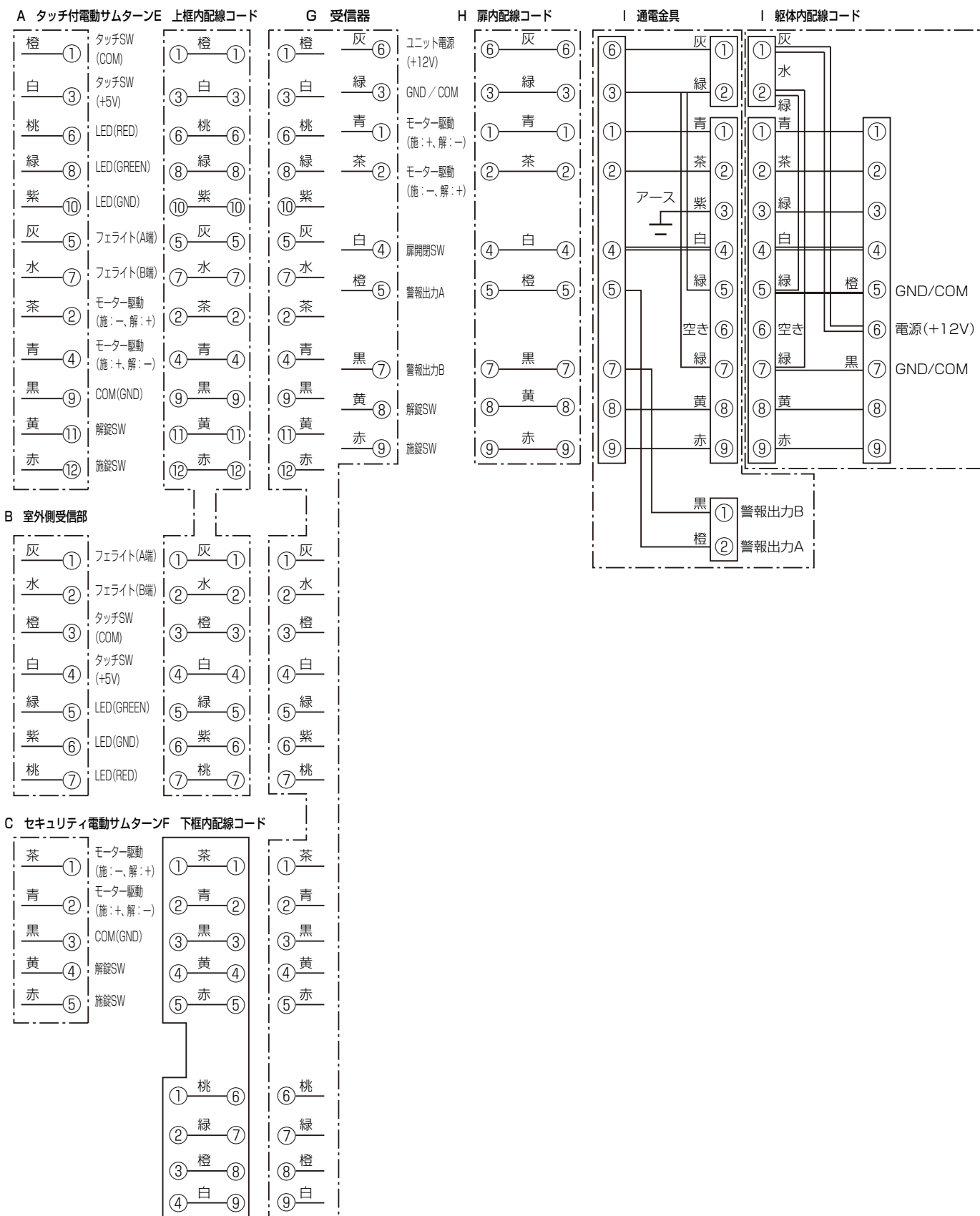


■JEM－A端子接続の確認



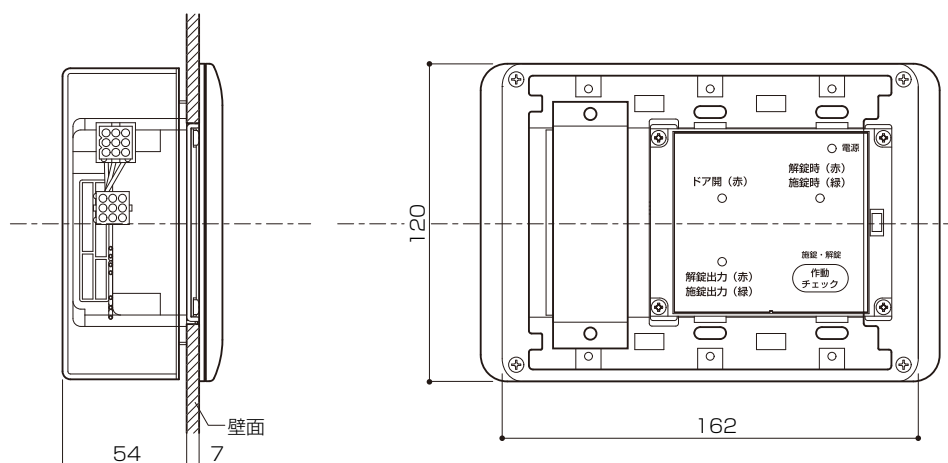
配線色別信号内容



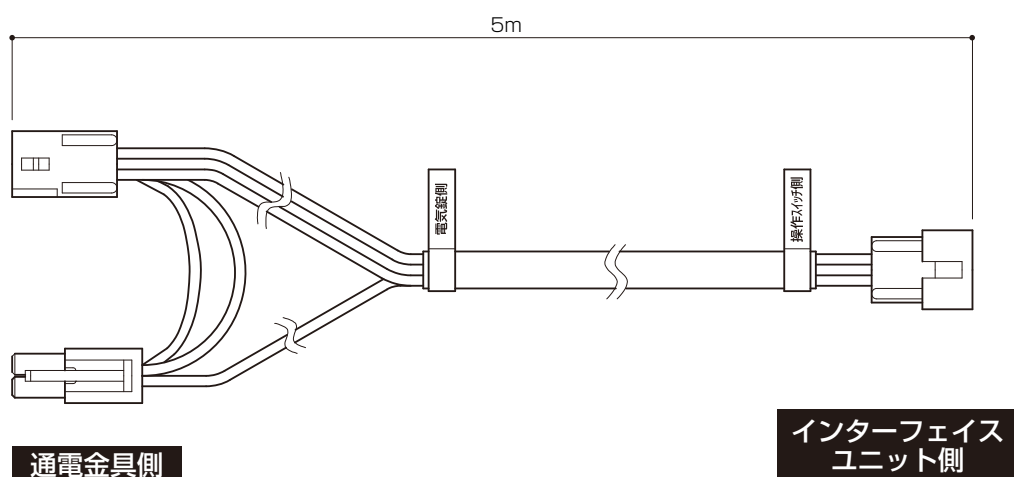


外形寸法図

■インターフェイスユニット



■躯体内配線コード



株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAL-303C	事業所コード AXU6	2023.3.31発行
---------------	-------------	-------------

